

神奈地祇神社で秋の大祭

10月24日、今年も氏神様である神奈地祇神社の秋の大祭が開催されました。ホラ貝・太鼓の音が響き渡る中、福船の「おこし休み」まで約500mの御神体の入った「おみこし」の御神幸です。

俗に「おなばれ」という御神幸は西金地の若い衆と地区の子供たち約100人がお供して進みました。おこし休みでは神事のおと、お供した子供たちにお餅が配られ、大喜びでした。

こうして866年(貞観8年)

豊年豊作と無病息災を願って



に建立された神奈地祇神社は1150年あまり、岩村の五穀豊穡と無病息災を願って「秋の大祭」として続けられています。

(編集部)

歴史散歩

南国市後免町スズ工農機(現サンシャイン)前
電車も通っている古写真・昭和30年代

日章小であゆみサミット

11月26日(土)、日章小と地域住民との意見交換会「日章あゆみサミット」が開催され、岩村地区からは島崎公民館長・田所運審会長・和田補導員の3名が出席しました。

情報交換会のあと、授業参観、合唱祭に参加して、審査員の大役も果たしました。

(編集部)

第2回「運営審議会」

岩村公民館運営審議会
会長 田所 秀二

11月17日、本年度第2回「岩村公民館運営審議会」を開催しました。

岩村公民館では、毎年11月に年度上半期の活動報告を行うと共に活動への反省を行い、下半期の行事への取り組み等の確認・検討を行っています。

また、運営委員の皆さんには、運営委員会で決定したその行事全てについて何らかの形で参画してもらい、運営への協力も得るようにしています。

岩村公民館では、運営に事業部制を設けており、運営委員1

5名の皆さんには「企画部」「事業部」「広報部」のいずれかの部に所属してもらい、それぞれ部長を中心とした活動をお願いしています。

企画部では、事業の内容についての企画を行い、事業当日は事業部が中心となって運営を行い、広報部は事前の広報に加え、広報誌を作成し地域に情報を伝達するというように役割分担を行っています。

公民館活動は、地域の皆様の参加意欲及び協力がなければ、とりわけ運営審議委員の皆様との協力がなければ、何一つうまく進めることができません。

事業を行う前には、運営委員全員に書面で協力依頼を行うと同時に、地域活性化委員会の協力をお願いし各種の行事を行う

ことにより、岩村地区の活性化が図られているものと思っております。

更に、地域の団結力を高めるために、年3回の「男の料理教室」また、「七夕まつり」「世代交流会」「クリスマス会」等々を運営委員が中心となり行うことにより、地域との親睦を図っています。

運営委員のうち1/3の5名は小部落の総代であり1年交代ですが、これも公民館活動が広く多くの皆さんに理解されいく一つの方法と思っています。

以上のことから、運営委員の皆さんに公民館活動をさらに理解してもらい、協力してもらうために、年2回の運営審議会及び親睦会等は継続していきたいと思っています。



資源ゴミ回収



七夕まつり



男の料理教室



移動学習



世代交流会

民生委員2ヶ月を経て

(寄稿者・堀の内 大町秀子)

民生児童委員のお役を頂きました。緊張感を持った日々を過ごしております。

新人研修も何とかくぐり抜けています。

まだまだ理解できないことも多々ありますが、謙虚に受け止め相手に合わせていく努力で、乗り切らせていただきます。幸いなことに親切丁寧に指導下さいます先輩方に感謝し今までの自生活に、さほどの変化は気づかないことに、少々安堵しています。

(毎月、届けさせてもらっているヤクルト達も、お役に立てる喜びで、ダンスしながらお伺いしていると思います)

未熟な私ですが、早く地元の皆様へ寄り添った民生児童委員を目指して参ります。どうぞよろしく願いいたします。